

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第825号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)

●発行日—令和8年(2026年)10月1日

●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会

〒060-0002 札幌市中央区

北2条西7丁目かでの2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

津久井  
やまゆり園  
事件10年

「19のいのちを  
集会」に80人

忘れない

(かでの2・7)

神奈川県相模原市の知的障害者支援施設「津久井やまゆり園」で元職員により入所者19人が殺害され、入所者・職員26人が重軽傷を負わされた事件から、7月26日で10年となりました。この日に合わせ、障がい当事者団体の北風の会・札幌みんなの会・ピープルファースト北海道の3団体が共同して毎年集会を開催してきました。今年は、事件後10年の節目となり、かでの2・7大会議室で「19のいのちを忘れない」津久井やまゆり園事件から10年を振り返って」を掲げて集会が開催されました。当事者を中心に約80人が参加。マスコミ各社も取材しました。集会の趣旨には、「障害のある仲間が『いのち』を奪われ、…同じ障害のある自分たちにとって、忘れたくても忘れられない事件。しかし、世間からは忘れ去られているように感じる日々

です。この事件を忘れないこと、…誰かを切り捨てて解決しようとする社会ではなく、誰もが住みやすい豊かな社会になるように」この集会を開催するとあります。あの事件から10年たつて、日本の社会は「誰もが住みやすい豊かな社会」に近づいているでしょうか。事件を振り返るとともに、このことを深く考える集会となりました。はじめに、北風の会・札幌みんなの会会長三浦正春さんが、主催者を代表して「障がいを持った仲間が、しっかりと自分たちの声をちゃんと上げていくことを続けていきたい」とあいさつしました。



続いて、事前に収録した当事者、事件の被害者とその支援者、津久井やまゆり園施設長、道育成会事務局 長ら25人のインタビューが3つに分けて放映され、それぞれのインタビューの後、にピープルファースト北海道アドバイザー会員の石田力さんの進行で、2名づつが登場して、インタビューで語ったことに込めた思いについて話しました。

どうしたら障害があってもなくても地域で学校も生活する場所も分け隔てなく生活できると思いますか？

当事者の原田千代子さんは、「小学校はみんなと一緒だったが、中学校から別な教室で一人で勉強するようになった。なぜなのかと思った。いじめもあった。」と話しました。また、当事者の四村真さんは、「嫌いな人を決して、あっちに行けとかならない社会にしたい。」と話しました。一緒に学び、生活することの大切さが語られました。

(2面に続く)



津久井やまゆり園事件が起きた時は、あなたはどう思いましたか？



当事者の松岡敏雄さんは、「自分も入所していた経験があるが、もしかしたら自分も殺されていたかもしれない。」「自分が裁判官だったら無期懲役にして、命の尊さを考えてほしいと思う。」と話しました。当事者の原田博子さんは、「私も施設に9年間いた。とてもつらく、早く施設を出たいと思った。やまゆり園の仲間たちは、やりたいことがいっぱいあったと思う。」と話しました。

インタビュでも「もしかしたら自分も殺されるかもしれない」と話した人が多くいました。当事者でなければ切実に感じることで、きかないと思います。また、地域で生活するためには、住むところと活動する場所、生活を支えるヘルパーの体制が整えられなければならないことも語られました。

これから子どもたちに残したい未来はどんな社会ですか？

当事者の藤田由喜枝さんは、23年間の入所

施設での経験を「入所施設では差別を受け、友達にも裏切られ、人を信用できなくなった。障がい者と地域の人と一緒に平等で暮らせる日を待ちたい。」と話しました。道育成会の藤田明宏事務局長は、「入所施設では自分のペースで生活することはできない。どんな障がいがあっても地域で生活していくために必要なサポートを受けられることが必要。違いはあっても人間としての大切さは同じだ」ということを一人ひとりが考えられるかが問われている。」と話しました。

集会の最後に、「7・26 津久井やまゆり園事件企画19のいのちを忘れない 10年目の誓い」が読み上げられ、「19名のいのちを奪われた仲間とそこから生き延びた仲間たちが教えてくれた『言葉だけで決めつけない』『環境で人が変わる』このことを胸にとどめ、世界中の人が差別・虐待を受けないこと」を「地域で生きて伝え続けていきます。」

「私たちは障害者である前に一人の人間です。」と会場全体で確認しました。

全国手をつなぐ育成会連合会は7月26日、「津久井や



事件を振り返る展示

まゆり園事件から10年の声明」を公表しました。全育連ホームページに掲載しています。↓

## 報告 第2回理事会開催（9/1）

9月1日に道育成会第2回理事会が開催されました。開会のあいさつで佐藤会長は、「京極町の農場での外国人労働者に対する虐待があった。この事件と似ている遠藤牧場事件は、なぜあのようにずっと分からなかったのか。当事者が声を出せるか出せないかということは大い。私たちがもっと手をつないで、声を上げにくい人たちの声をきちんと反映していくことが大事だ。」と述べました。

協議議題は「全道大会について」「定款の改定について」の2議題で、「全道大会について」では、来年度の札幌大会、再来年度のオホーツク北見大会の準備状況が報告され、承認されました。また、「定款の変更について」は、「事業」の一部文言の修正について検討し、来年度総会で提案することが決まりました。その他、報告議案6議案が報告され、その中で、「令和8年度熊本地震」の義援金募集について、広く呼び掛けることが確認されました。その後、各地域の現状や取り組みについて交流されました。



## 私たち育成会、ただ今、奮闘中！

地区育成会の活動紹介  
札幌市手をつなぐ育成会  
その19

### 8年ぶりに復活！バスツアー

### 「旭山動物園＆ランチバイキング」開催

47名が参加し、

笑顔あふれる一日となりました！

令和8年7月12日(日)、新型コロナウイルス感染症の影響により長らく開催を見送っていたバスツアーを、実に8年ぶりに開催しました。

今回の行き先は旭山動物園。23家族・総勢47名が参加し、育成会活動センター「いんくる」に集合しました。久しぶりの開催ということもあり、参加者の皆さんは朝から笑顔いっぱい。「今日は楽しみ！」という期待に満ちた表情でバスに乗り込み、旭川へ向けて出発しました。

当日の旭川方面は雨予報だったため、道中は天候が気掛かりでしたが、大きく雨に降られることなく目的地へ向かうことができました。

### ■まずはホテルでランチバイキング

旭山動物園へ向かう前に、まずは「アートホテル旭川」でランチバイキングを楽しみました。会場にはさまざまな料理やデザートが並び、「何を食べようかな」と目を輝



かせる参加者の姿が見られました。滞在時間は約1時間と短めでしたが、それぞれが好きな料理を味わい、お腹も心も大満足。同じテーブルになった方同士で会話を弾み、食事を通じて交流を深めることができました。

### ■天気も味方してくれた旭山動物園見学

ホテルを出発した直後は激しい雨が降り始めましたが、動物園へ近づくにつれて雨足は弱まり、到着した頃には雨も止み、青空ものぞくほどに回復しました。

まずは入口前で参加者全員による記念撮影を行い、その後は約2時間の自由行動です。

家族や友人と園内を巡りながら、ペンギンやアザラシ、シロクマなど旭山動物園ならではの動物たちを間近で観察しました。動物たちの生き生きとした姿に、参加者皆夢中になり、それぞれ思い思いの時間を過ごしました。



途中、雷が鳴ったり小雨が降ったりする場面もありましたが、大きく天候が崩れることはなく、予定どおり見学を楽しむことができました。

### ■帰り道も楽しい思い出に

動物園を後にした一行は、札幌への帰路の途中で砂川ハイウェイオアシスに立ち寄りしました。

添乗員さんおすすめのソフトクリームを味わったり、「空知の産直そらいちマーケット」

で新鮮な野菜やお土産を購入したりと、最後まで思い思いの時間を楽しみました。

### ■「また行きたい！」の声が次回への励みに

無事に育成会活動センター「いんくる」へ到着し、けがや体調不良もなく、全員が元気に帰ってくることができました。

バスを降りる際には、「楽しかった！」「また行きたい！」という嬉しい声がたくさん聞かれ、久しぶりにバスツアーを開催できた喜びを改めて感じました。

参加者同士の交流を深め、笑顔あふれる一日となった今回のバスツアー。改めて、みんなで出かける楽しさや、一緒に過ごす時間の大切さを実感する機会となりました。

さて、来年はどこへ行こうか……。すでに次の行き先を考え始めています。来年も多くの皆さんに参加していただき、さらに楽しい思い出を作れるよう企画していきたいと思っています。どうぞご期待ください。

(札幌市手をつなぐ育成会事務局長

深宮しのぶ)

## 11月の予定

- 1日(日) 全国大会神戸大会
- 6日(金) 特別研修会(新ひだか町)
- 8日(日) 第2回ピアカン研修会
- 第1回本人大会実行委員会
- 17日(火) 上期監査
- 28日(土) 魅力ある事業所づくり研修会



# 障害のある方向け 総合保険



あ！それウチかもと思った方！

## ぜんちの あんしん保険 障害のある方とそのご家族へ

少額短期健康総合保険（無告知型）2019年創設

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険（個人賠償責任補償）で賠償責任を補償（国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き）

### 入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

### 賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

### 相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

## ぜんちの こども傷害保険

特別支援教育を必要とされている方へ  
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険（個人賠償責任補償）で賠償責任を補償（国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き）

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

25TX-004122（2025年11月作成） 2012-2510R00

**ぜんち共済株式会社** 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5  
関東財務局長（少額短期保険）第14号 九段北325ビル4階

平日9時～17時  
土日・祝日・年末年始を除く  
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

**0120-322-150**

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

取扱代理店（資料請求・その他お問い合わせ）

060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地  
札幌セントラルビル2階  
有限会社オフィスブレイン  
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

## 知的障がい児者・発達障がい児者（自閉症児者を含む）の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約17万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2025年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

## 生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

**株式会社 ジェイアイシー 北海道支店**  
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102  
レジディア大通公園2F  
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**札幌支店**  
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F  
TEL: 011-204-7510  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**北海道生活サポート協会**

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内  
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2026年1月現在の内容です。(D-008145 2026-12)

## 『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の  
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を  
目指しています。体力のある事業所も体力のない  
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を  
待っています。

## 北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 (4F)  
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804  
E-mail: [doikusei@air.ocn.ne.jp](mailto:doikusei@air.ocn.ne.jp)

## ★会員事業所紹介★

### 社会福祉法人 道南福祉ねっと 就労支援センター ToMoハウス

〒041-1111 亀田郡七飯町本町4丁目20番2号

電話/FAX (0138)86-7118

E-mail: [well-being@donanfukushi.or.jp](mailto:well-being@donanfukushi.or.jp)

★就労継続支援B型（定員 25名）

★主な作業

- ①喫茶店の運営
- ②菓子製造（パウンドケーキ、チーズスティックケーキ、メレンゲクッキーなど）
- ③小物作り（ビーズアクセサリなど）
- ④各種請負作業（箱折り作業、リンゴ農園作業など）

☆共に学び、共に生きる社会の創造を胸に、日々実践を重ねています。

